

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第126回

公益社団法人
家庭問題情報センター 濱口 俊子

離婚紛争中に夫に子連れ去られた妻のケース

相談者は二十代の小学校教員の花子さん。夫は自動車整備工。恋愛結婚し、十か月の乳児がいます。夫は共稼ぎについての理解がなく、夫婦の会話もなくなって喧嘩が続くようになりまし。

花さんは子連れで実家に戻り、現在、離婚裁判中ですが、裁判中に夫に子連れ去られてしまいました。「連れ戻したいですが、奪い合いの繰り返しになってしまいそうで。それでは子が可哀そうだし」と子の連れ戻しに躊躇し思い悩んで相談室を訪れました。

花（花子さん） 子連れ戻したい気持ちで一杯なのですが……。

子は近くにいる夫の母親が面倒をみていてと思いますが、だんだん時間がたつうちに子はあちらに馴染んで、私が引き取れなくなってしまいそうで心配でたまりません。裁判でも不利になりそうだし。

カ（カウンセラー） 話し合いはできないのですか。

花 話し合いができるような相手ではないのです。元々口数の少ない夫ですが、肝心な自分の意思のようなものはない人です。

だから、私は黙って家を出てきました。

た。こんな時くらいは、夫は何か言ってくると思ったのですが、何も言ってくれないのです。

カ それで離婚を考えるようになったのですか。

花 そう、離婚しれないと思いました。

私はすぐ調停を申し立てました。調停では夫はあっさり離婚を認めましたが、親権者については譲らなかつたので、調停は不成立になり、私は裁判を起こしました。今、裁判中ですが、裁判でも夫は、離婚は認めてますが、親権では譲りません。

カ 夫は子どもを手放せないのかしら。

花 これまで夫は子の世話をすることは

ほとんどなく、可愛がっている様子もありませんでした。それなのに何故と

カ いつ頃から夫婦は揉めるようになったのですか。

花 最初からです。夫は共稼ぎに理解がないのです。

教員の仕事は激務です。私はまだ慣れないせいもあって、児童の騒ぎ声にイライラしたりして、家に帰るとくたくたです。夫の協力が欠かせないので、どんなに私が大変であっても知らん顔です。

頼んでも嫌々ながらなので、つい文句を言って喧嘩になってしまっています。

カ 夫はあなたの大変さが分からないのですか。

花 分かるうとしないのです。家事を手伝うなんて男の沽券にかかわると思っ
ています。それに母親の手前もあって
恰好を付けているのです。

カ 夫は家では何をしているのですか。

花 夫は何か資格を取るための勉強をし
たりしています。

今の整備工のままでは終わりたくな
いという気持ちだと思います。

あっ、それは……妻に負けたくない
と思っっているということかしら。

カ そうした相手の気持ちを今まで考え
たことはありませんか。

花 いいえ。今、初めてそう思いました。
夫だって私に対していろいろ言いた
いこともあるかもしれないし、妻の手
伝いだけでなく、自分のやりたいこと
もあったかもしれない……。

カ ずいぶん離婚を急いだ感じですね。
すぐに調停、裁判と進めて。

花 離婚以外は考えられなかったのですか。
別に離婚を急ぐ理由はなかったけれ
ど……。

夫が何も言わないのが癪に障ったの
かもしれません。家事、育児に振り回

されてイライラしていたし、もうどう
にもならないという感じて。

カ 家を出たときに夫が何か言ってくれ
れば気持ちが変わったかしら。

花 夫の気持ち次第では違っていたかも
しれません。

こんな小さい子がいるのに別れたっ
ていいことないでしょうし。

カ 夫はどうなのでしょう。
夫もあなたが何か言ってくれること
を期待していたのではないかしら。

花 そういえば、離婚という重大な話す
ら私は何も説明しませんでした。相手
にばかり求めていて。相手の気持ちを
確かめようともせずに、離婚、離婚と
半ば意地で突っ走ってしまっただも
しれない……。

夫もまた意地で離婚を承知したかも
しれませんね。それで、切羽詰まっ
て子を連れ去って離婚にストップを
かけたとか……。

カ 夫の離婚の真意を知る必要がありそ
うですね。

花 これまで自分の忙しき、都合ばかり
を考えていました。夫には夫の立場や
気持ちがあるということを忘れていま
した。

カ 家事育児などはいつもきちんとしてや
らないと気が済まないほうですか。

花 手抜きしちゃいけないと思いつなが
りながら手抜きになっているのが嫌で堪ら
なかったという感じですね。

カ 共稼ぎで子を育てることは大変です
ね。

夫の協力は必要ですが、何もかも完
壁にこなさなくても、多少は中途半端
になっても仕方がないくらいに
思ってもよいのではないですか。

花 中途半端でも仕方がないのですね。
そう考えればずいぶん気持ちが楽にな
ります。

離婚についてももう一度夫と話し合っ
て考えてみます。このままでは子が犠
牲になってしまいますし。子の引取り
の問題はその後に考えます。

……

花子さんはこのままの状態でも何と
かやっていけるといふ感触を掴んだよ
うでした。

その後、夫と話
合いができ、やり
直しの方向に向
かっているとの連
絡をもらいました。

